

国語 評価規準【5年】

単元名		言葉で伝え合おう
単元の目標		友達の言葉や動作を受け止めてつなげる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで目的や意図に応じて、話題を決め、学習の見通しをもって必要な情報を集め、友達の言葉や動作を受けとめようとしている。

単元名		くふうされた表現をもとに、登場人物のしんじょうをそうぞうして読もう
単元の目標		登場人物の心情の移り変わりを考えながら読む。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって登場人物の心情の移り変わりを考えながら読もうとしている。

単元名		新聞を読もう
単元の目標		新聞の仕組みを知り、それをもとに同じできごとを扱った新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて気づいたことを発表し合ったりする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで新聞の仕組みを知り、今までの学習を生かして新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて考えたことを話し合ったりしようとしている。

単元名		事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう
単元の目標		言葉が人の感じ方や行動に影響を与える事例とその理由を解説した文章を読み、言葉の働きに対する見方・考え方を深める。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって同じ言葉が異なる働きをすることに気づき考えたことを文章にまとめようとしている。

単元名		伝わるように構成を考えよう
単元の目標		伝えたい相手や目的、内容を考えて、構成を工夫して話したり書いたりする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
	思考・判断・表現	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしようとしている。

単元名		漢文に親しむ
単元の目標		現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを読み味わう。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に現代の言葉とは異なる漢文のリズムや響きを理解し、今までの学習を生かして漢文を読み味わいながら音読しようとしている。

単元名		知りたいことを決めて、話を聞こう
単元の目標		聞きたいことを明確にして、話を聞く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。
	主体的に学習に取り組む態度	粘り強く聞きたいことを明確にして、学習の見通しをもって、話を聞こうとしている。

単元名		詩を味わおう
単元の目標		さまざまな昔の作品を読みながら、詩の世界を楽しむ。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を楽しもうとしている。

単元名		物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読む
単元の目標		残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、「やま場」の場面を見つれたり、大造じいさんの行動に対しての考えを書いたりする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで残雪に対する大造じいさんの心情の変化を読み、学習の見通しをもって「やま場」の場面を見つれたり、大造じいさんの行動について考えたことを文章にまとめたりしようとしている。

単元名		俳句を作ろう
単元の目標		季語や自分の気持ちや様子を表す言葉を選び、俳句を作る。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって俳句をつくろうとしている。

単元名		考えを広げるために、立場を決めて話し合おう
単元の目標		立場を決めて話し合い、さまざまな意見を聞いて自分の考えを広げる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	粘り強く立場を決めて話し合い、学習の見通しをもってさまざまな意見を聞いて自分の考えを広げようとしている。

単元名		多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう
単元の目標		多様な文章や資料を比べながら読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に多様な文章や資料を比べながら読み、学習課題に沿って自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書こうとしている。

単元名		「古典」を楽しむ
単元の目標		昔から読み継がれている物語を読み、感想を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで昔から読み継がれている物語を読み、学習の見通しをもって「古典」を読んだ感想をまとめようとしている。

単元名		表現の効果を考えながら、登場人物の関わりをとらえて読もう
単元の目標		表現の工夫や登場人物の関わりをとらえて、『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	比喩などの表現の工夫に気付いている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで物語の表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって『雪わたり』の魅力を紹介する文章を書こうとしている。

単元名		「図書すいせん会」をしよう
単元の目標		印象に残った作品を取り上げ、推薦の仕方を工夫して、「図書すいせん会」を開く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に推薦の仕方を工夫して、学習課題に沿って「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合おうとしている。

単元名		詩を味わおう
単元の目標		さまざまな昔の作品を読みながら、詩の世界を味わう。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで昔の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を味わおうとしている。

単元名		事実と意見を結びつけて書こう
単元の目標		身のまわりの生活から課題を見つけ、事実と意見を結びつけて提案文を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に身のまわりの生活から課題を見つけ、学習課題に沿って事実と意見を結びつけて提案文を書こうとしている。

単元名		「マンガの方法」とその効果について、自分の考えをもとう
単元の目標		文章を読んでマンガの表現方法やおもしろさを理解し、マンガに対する自らの考えの変化を文章に表す。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。
	主体的に学習に取り組む態度	粘り強くマンガの表現方法やおもしろさを理解し、学習の見通しをもってマンガに対する自らの考えの変化を文章に表そうとしている。

単元名		みずぶをさがし求めた筆者について、考えをまとめよう
単元の目標		筆者の心情や考えを読み、自分の考えをまとめる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。

	主体的に学習に取り組む態度	積極的にノンフィクション作品の筆者の心情や考えについて理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
--	---------------	--